

甲佐町議会だより



清流

第109号

平成16年5月10日

発行 甲佐町議会

3月定例会

平成十六年度予算

主な事業どんなもの…

そこが知りたい Q&A…④～⑦

一般質問は5人

あなたにかわり町の考え方聞く…⑧～⑫

特別職の給料減額！…

長崎県西彼町

行財政改革を学ぶ

⑭

⑬

⑫

②



見事な整列の
緑川保育所幼年消防クラブ

町の消防は俺たちに任せて！



甲佐町消防団の一斉放水（中甲橋グリーンパーク）

の収入減(対前年度比)

3月定例議会
平成16年度 当初予算

対前年度比12.1%の減額予算

みんなが主役のまち」をめざす。(町長の所信表明)

甲佐町の歴史と伝統、文化を守り自然を活かした新しい町づくり、子供たちの未来のため均衡ある地域の発展と活力あふれる町づくり、住民サービスの基礎を築くため行政・生涯学習サービスの建設を実現する。

均衡ある地域の発展



今年の事業の主なもの

道路新設改良費
補助金に2億1300万円



早期完成が待たれる
岩下益城橋線

町道新設改良費で町道岩下
益城橋線外4路線の測量設
計委託料・工事請負費・用
地買取費・補助費等で2億1,
330万円を計上(写真は
町道岩下益城橋線の現況)

中山間地総合整備事業等
農地費に6276万円



着工された大峯地区
ふるさと農道

農地費において町単土地改良事業補助金・中山間地域総合整備事業負担金・広域総合整備事業負担金・大峯地区ふるさと農道整備事業負担金・乙女大沢水地区農免道路整備事業負担金・大町地区緊急生産調整推進事業費などの負担金補助および交付金に6,276万円を計上(写真は大峯地区ふるさと農道整備事業の工事状況)

スリップス病対策
補助金に450万円



スリップス病の被害状況

花き緊急対策事業補助金(スリップス病)町単独事業として今回、450万円を計上した。
対象者は100戸
(写真はスリップス病による花枯状況)

平成16年度 3月定例会は、3月12日に召集され22日までの11日間の日程で開催されました。今定例会では平成16年度の一般会計および特別会計予算の審議をはじめ、平成15年度の補正予算、緑町・横田団地払い下げに関する「甲佐町町営住宅管理条例」の一部改正の他、教育委員、固定資産評価審査委員会の選任同意などすべての議案を原案通り可決しました。なお一般質問には、5名の議員が登壇、町政全般にわたり質問しました。

地方交付税・臨時財政対策債併せて12%

一般会計予算55億7,394万円を可決

財政は、依然としてきびしいが「きらきら輝くまちづくりひとづくり住む人

教育委員会と連携して学校教育の充実のため学力向上対策や少子化のなか個性豊かな人づくりの実践や生涯学習の充実に努める。

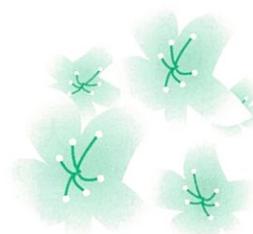
**健康で安心の
まちづくり**

健康で安心の町づくり少子化対策として子供たちが健やかに育つ町づくりを推進する。

**健康で安心の
まちづくり**

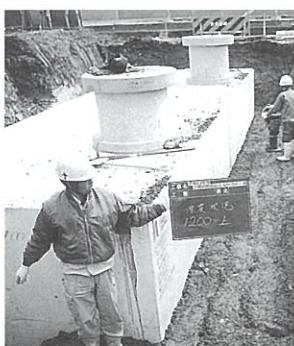
緑川観光交流拠点施設の整備・農産品のブランド化地産地消の推進、アクセス道路の整備や市街地の下排水対策等、人口増加対策を図り誇れる町づくりを推進する。

**誇れる町づくりの
推進**



教えてください

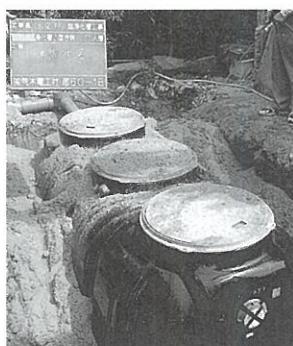
防火水槽新設工事に 1950万円



初期消化に不可欠な
防火水槽

消防費の消防施設設費において防火水槽新設工事費1,950万円を計上。今年度は町内の3箇所を予定している。防火水槽は火災時の初期消

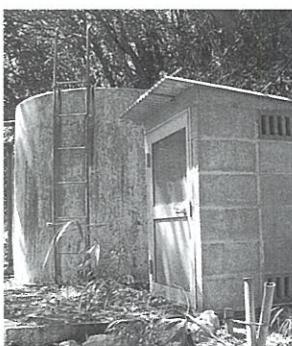
合併浄化槽設置 補助金に2682万円



水質改善が期成される
合併浄化槽

合併処理浄化槽設置補助金として2,682万円を計上。今年度は70基分を補助予定（写真は合併処理浄化槽の設置状況）

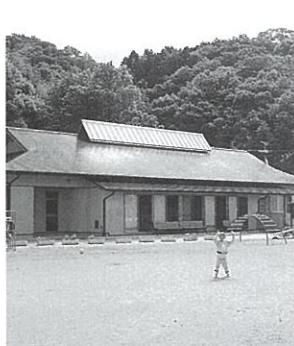
宮内地区簡易水道工事に 1155万円



早期改善が待たれる
広瀬簡易水道施設

宮内地区部落簡易水工事として1,155万円を計上した。今年度は広瀬地区を工事予定（写真は当該地区の現簡易水道施設）

白旗福祉ふれあいセンター 周辺整備に450万円



H16年3月完成した
白旗福祉ふれあいセンター

民生費の社会福祉総務費において白旗福祉ふれあいセンター周辺整備事業費として450万円を計上した。今回は、外構・駐車場整備をおこなうもの。（写真は落成した「白旗ふれあいセンター」）

論

点

そこが知りたい!

3月定例会質疑より

Q&A

**地方交付税は
大幅減額！**

Q 三位一体の改革により
交付税が大きく減少してい
るが、どれ程の減額か。

A 昨年の実績が17億1,2
00万円で本年度は1億2,
000万円の減で16億円で
65%の減となる。当初予算
には特別交付税5,000万
円を合わせて計上し16億5,
000万円としている。

町道認定は

慎重に！

Q 町道の認定については
改修するために申請が上が
つてくるのではないか。

A 工事をするための町道
認定ではなく、まず認定を
してその後、内部で十分検
討してから計画的に行いたい。



発掘調査中の陣の内館跡

**文化財と農道の
関係はどうか！**

Q 免の山の陣の館跡地は
文化財としてどれだけの価
値があるのか。また農道は
ちゃんとできるのか。

A 県の文化課で試掘をや
つているが、国宝的なもの
だと話もある。農道につ
いては文化財の調査を見な
がら第一期の採択を待ちたい。

**地域福祉基金の
活用は！**

Q 地域福祉基金の残金が
少なくなつてきていたが、こ
今まで行つてきたボランテ
ィア団体や福祉団体への助
成ができなくなるのでは。

A 地域福祉基金の利子運
用で実施していたが、ここ
数年は低金利で運用果実で
実施できなくなり、一般財
源より100万円を限度と
して実施してきたが16年度は、
存目1,000円の予算しか
ない、これは是非必要であり、
町としても検討したい。

A 町営住宅の払い下げは不公平！

Q 町営住宅の払い下げについては、数年前に瓦を新しく換えてある家屋もあるがどう対処するのか。

A 川平キャンプ場の利用者増対策を！

Q 川平キャンプ場の利用者が少ない。利用者増対策はどう考えているのか。

A 医療費の申請不要に！

Q 乳幼児医療費の無料化は評価できるが、病院の利用者はいつたん医療費を支払つてから証明書を持って申請しなくてはならない。

A パンフレット等の作成をしてPRをしたい。本年度は、コミュニティ助成事業においてカヌーの購入を計画している。

A 二戸ほど台風により瓦換えを行っているが、不公平が生じないように努力をしたい。

町営住宅の払い下げは不公平！

川平キャンプ場の利用者増対策を！

医療費の申請不要に！



利用者増対策が待たれる川平キャンプ場

あゆまつりはどうなる

残るのか？



あゆまつり・子供みこし風景



Q 町の代表的なイベントであるあゆまつりが一日に減らされると聞いたが。

A 観光協会の理事会でそのような話も出たが、今年は土曜、日曜にまたがっており、再度理事会で二日間のイベントとして協議したい。

Q 庁舎建築基金は庁舎を建設しても一億円以上残ると思うがどうするのか。

A まだ検討中ではあるが

府舎を建てれば排水の問題も出てくる。市街地の排水対策も考えながら取り組みたい。

Q 庁舎建築が進められているが、甲佐町には町有林があり十分材木として利用できると思うが、その計画はないのか。

A 施工業者や設計業者にも話をしたいが、打ち合わせができていなかつた。使えることができるなら検討したい。

庁舎建築に町有林の材木を！

休日出勤について

A 休日出勤は平日に代休をとらせている。ボランティア的なところもあるが、実質ボランティアではないと解釈している。

Q 町の行事などの休日出勤はボランティアではないのか。

国道の改良は

人間ドックはどうなる

有線放送は
だいじょうぶ

学校教育に
かかわる人は

ざんじ休憩



アナウンス中の有線放送室



むかし、甲佐の町には二本の川が流れ、雨が続くと洪水がおこり、田や畑が災害を受け、農民たちは大変こまつていました。何度もせきを作りましたが激しい水の流れにすぐに流れてしまいます。なんとか流されないせきを作りたいと加藤清正公は甲佐神社に大願をたて祈りを続けられました。

藤清正公は甲佐神社に大願をたて祈りを続けられました。ある夜のこと清正公は緑川のこちらの岸から、向こうの岸へなめに鶴の鳥が並んでいる夢を見ました。これは神様のお告げに違いないと、夜が明ける時に川にやつてきました。すると朝日に輝く静かな川の中に夢のとうりに鶴の鳥が數十羽きれいに並んでいました。その並びのとうりに清正公はせきを作りました。するとそのせきはながれることもなく、水は田んぼを潤おし、農民は大変喜んだそうです。それからこのせきを鶴の瀬せきと呼んだそうです。

（甲佐の民話より）

現在でもこの鶴の瀬せきのおかげで何百ヘクタールの田んぼがその恩恵を受けています。ところで私も50年ぐらい緑川を見つづけているが鶴の瀬せきはあっても、鶴の鳥を緑川で見たことはなかつた。ところが昨年の秋から緑川に鶴の鳥の大軍が現らわれたのだ。真黒な体に長い首とやや黄色い口ばしが特徴でかなり大型の鳥である。緑川の川口から上流の方まで何回も移動をしながらエサを求めている様子を何回となく見た、その数はざつと120羽はいたであろう。空を飛ぶ姿はV字の連体飛行でまさしく壯觀なものがありそれに圧倒される。これだけの鶴の大軍ともなると食糧事情も大変であろう。おそらく緑川の鮎はかなり鶴の胃の中に修まっているに違いない。

突然現われた鶴の鳥を歓迎はしたいが、喜こんでいいのか、緑川の鮎を心配しなくてはいけないのか複雑な心境である。

Q 国道四四三号線の甲佐高校前から熊本バスの車庫前の区間においては、見通しの悪いカーブがあり、事故が多発している。改良の要望はしているのか。

Q 国民健康保険で本年度から人間ドックの補助は打ち切られ廃止するときいているがどうゆうことか。

A 新しい施設に改良してから10年になる。今後は施設の部品の調達もむづかしくなり。通話機能にも今後どうかと考える。防災のための機能もあるので、住民に迷惑をかけないような施設として考える。基金については、今後とも継続しながら考えたい。

A 教育カウンセラーは、町の雇用で、不登校の生徒を担当しながら、家庭訪問や親とのカウンセリングを行なっている。教育総合アドバイザーは、これも町の事業で各学校への指導助手ドバイザーは、これも町の業務を行なっている。スクールカウンセラーは、県からの派遣で個別のカウンセリングや教育相談等を行う。

外国語指導助手は、英語の授業のとき教師の助手として英語を教えていた。現在の指導助手は8月で3年間の任期切れで、次も考えて

A 県の土木部も立ち会いで現地調査もしている。まだ現状のままであるが、今後も強い要望をしていく。

A 国の補助金である調査交付金の対象にならないので今後は、集団検診や総合検診を利用していただきたい。現在行っている35歳から70歳までは5歳きぎみに節目検診として日帰りのドック

Q 本町の有線放送はあと何年くらい稼動できるのか。また、有線放送基金があるがその取り扱いは。

A 新しい施設に改良してから10年になる。今後は施設の部品の調達もむづかしくなり。通話機能にも今後どうかと考える。防災のための機能もあるので、住民に迷惑をかけないような施設として考える。基金については、今後とも継続しながら考えたい。

むかし、甲佐の町には二本の川が流れ、雨が続くと洪水がおこり、田や畑が災害を受け、農民たちは大変こまつていました。何度もせきを作りましたが激しい水の流れにすぐに流れてしまします。なんとか流されないせきを作りたいと加藤清正公は甲佐神社に大願をたて祈りを続けられました。

藤清正公は甲佐神社に大願をたて祈りを続けられました。ある夜のこと清正公は緑川のこちらの岸から、向こうの岸へなめに鶴の鳥が並んでいる夢を見ました。これは神様のお告げに違いないと、夜が明ける時に川にやつてきました。すると朝日に輝く静かな川の中に夢のとうりに鶴の鳥が數十羽きれいに並んでいました。その並びのとうりに清正公はせきを作りました。するとそのせきはながれることもなく、水は田んぼを潤おし、農民は大変喜んだそうです。それからこのせきを鶴の瀬せきと呼んだそうです。

（甲佐の民話より）

現在でもこの鶴の瀬せきのおかげで何百ヘクタールの田んぼがその恩恵を受けています。ところで私も50年ぐらい緑川を見つづけているが鶴の瀬せきはあっても、鶴の鳥を緑川で見たことはなかつた。ところが昨年の秋から緑川に鶴の鳥の大軍が現らわれたのだ。真黒な体に長い首とやや黄色い口ばしが特徴でかなり大型の鳥である。緑川の川口から上流の方まで何回も移動をしながらエサを求めている様子を何回となく見た、その数はざつと120羽はいたであろう。空を飛ぶ姿はV字の連体飛行でまさしく壯觀なものがありそれに圧倒される。これだけの鶴の大軍ともなると食糧事情も大変であろう。おそらく緑川の鮎はかなり鶴の胃の中に修まっているに違いない。

突然現われた鶴の鳥を歓迎はしたいが、喜こんでいいのか、緑川の鮎を心配しなくてはいけないのか複雑な心境である。

合併浄化槽設置の放流承諾は！

Q 合併浄化槽を設置する場合、土地改良区の承諾と協力費を支払わなければならぬと聞いています。

A それぞれの土地改良区で異っているが、放流同意だけ取れば違法だということで、公共的団体の立場もあるので改善すべきところは指導をしていきたい。

パソコンのリースについて

Q 各課にパソコンが配置されているが、購入をしているのか、リースをしているのか。

A 各課それぞれで、購入とリースがある。補助金の問題もあるので各課の判断にまかせているが今後は物品の購入等については研究していきたい。

役場駐車場の管理状況は！

Q 役場駐車場や憩いの家の前の駐車場の管理はどうなっているのか。

A 役場の駐車場等の町有の駐車場については調査検討をしてよりよく使いやすくしたい。

グラウンドゴルフ場の拡張を！

Q グラウンドゴルフ場の使用料の実績は、また隣接地に他目的なグラウンドの整備はできないか。

A 2月までの実績で654万円になつて。グラウンドゴルフ場の利用者を増すためにも月例の大会等を考え、拡張の件も本年は財政面で見送つたが計画はしている。



早急な整備が待たれるグラウンドゴルフ場



パソコン導入された仕事風景

消防ポンプ車補助金は！

Q 昨年、補助金が付かなかつたといふことで消防ポンプ車購入ができなかつたが本年はどうするのか。

A ポンプ車の申請はあつてはいるが15年度で補助制度がなくなり、当面十二分に整備をしながら使うように指示はしている。

本町議会 全国町村議会より表彰



本町議会は平成16年2月に全国優良議会として表彰を受けた。今回の表彰は永年の地方自治における議会運営の向上に努め、町民福祉の増進に寄与したことが認められたものである。今後、本町議会としては、この全国表彰を機会に更なる研鑽を積み、住民主体の議会運営に努めて行きたいと思います。

門 内 巧 議 員

介護保険制度の詳細を聞く

**要介護認定者の
増加率は**

125人(26.1%)

要介護2が83人(17.3%)

要介護3が77人(16.1%)

要介護4が72人(15.1%)

要介護5が41人(8.6%)

要介護6が17人(3.4%)

要介護7が7人(1.4%)

門内巧議員

介護保険制度が平成12年度から始まり、四年が経過し成熟の度が増してきている。

3年毎の保険料改定も昨年1回目の改定が行われた。

また5年毎の保険制度そのものの見通しも問題に迫っている。そこで幾つかにわたり質問する。

まず第一号被保険者の推移と、要介護認定者の増加率を尋ねる。

課長

第一号被保険者、65才以上の高齢者数の推移は、平成12年4月で3,479人の

28・17%が、今年の1月では30・12%となっている。今後も増加するものと考えられる。

要介護認定者の状況については、要支援から要介護の1~5段階がある。平成12年4月では、要介護が80人で16・7%、要介護1が

財政出動と制度に対する理解は

門内巧議員

財政出動と制度に対する理解は

要介護5が41人で8・6%となっている。増加率については平成16年1月では、

要介護3、4、5は12年と

変ってないが、軽いほうの

要支援、1、2は国、県と

同様当町に於いても極端に

増加している。全体的には

平成12年が478人と1・44倍

サービスの不公平感があるのでは

門内巧議員

サービスの不公平感があるのでは

3年毎の保険料改定も昨年1回目の改定が行われた。

また5年毎の保険制度その

ものの見通しも問題に迫っ

ている。そこで幾つかにわ

たつて質問する。

まず第一号被保険者の推

ととなっている。

平成12年が478人と1・44倍

となっている。

要介護5が41人で8・6%

となっている。増加率につ

いては平成16年1月では、

要介護3、4、5は12年と

変ってないが、軽いほうの

要支援、1、2は国、県と

同様当町に於いても極端に

増加している。全体的には

これは健康保険組合の保険料に上乗せとして徴収されているので、介護保険を払っている認識は一寸薄いのではないかと思われる。

第2号被保険者は介護保険制度に対してどのように理解をしているのか。

課長

これは健康保険組合の保

険料に上乗せとして徴収さ

れているので、介護保険を

払っている認識は一寸薄い

のではないかと思われる。

自立の程度の軽い方への支援策は、町の方の介護保険計画等で実施している、昔からされている老人クラブの活動や友愛ホーム活動等である。また予防を停滞させるということでスポーツ振興もやっている。一人暮しの人で在宅で安心して暮せるように集中総合体制もある。その他、少し補助用具があれば我家で暮せる方には日常生活用具の貸し付けも行っている。

去年一月共同通信社が実施した、介護保険の根幹に関する全国自治体のトップ

課長

自立の程度の軽い方への

支援策は、町の方の介護保

険計画等で実施している、

昔からされている老人

クラブの活動や友愛ホーム活動

等である。また予防を停滞

させるということでスポー

ツ振興もやっている。一人

暮しの人で在宅で安心して

暮せるように集中総合体制

もある。その他、少し補助

用具があれば我家で暮せる

方には日常生活用具の貸し

付けも行っている。

門内巧議員

去年一月共同通信社が実施した、介護保険の根幹に関する全国自治体のトップ

今、介護保険納入は40才以上となっているが、この年命を下げたがいいのかのアンケートだつたが、私は若い人が年金も払わない状態ということで「現在のままでよい」という回答をした。

つて介護保険が利用できるようになつた場合は原則として介護保険が優先される。

アンケートで、町長はどのようご回答されたか尋ねる。
町長

平成17年度の改正に向けて論議が始まつてきている。

1億2・678万になつていて、約19%の伸びになる。

他の一つは事務費諸々で、伸びである。

ための自立支援対策はどう給付費の上昇を押さえる

なつてゐるか。例えば筋力向上トレーニングのようなものが実施されているかどうか。

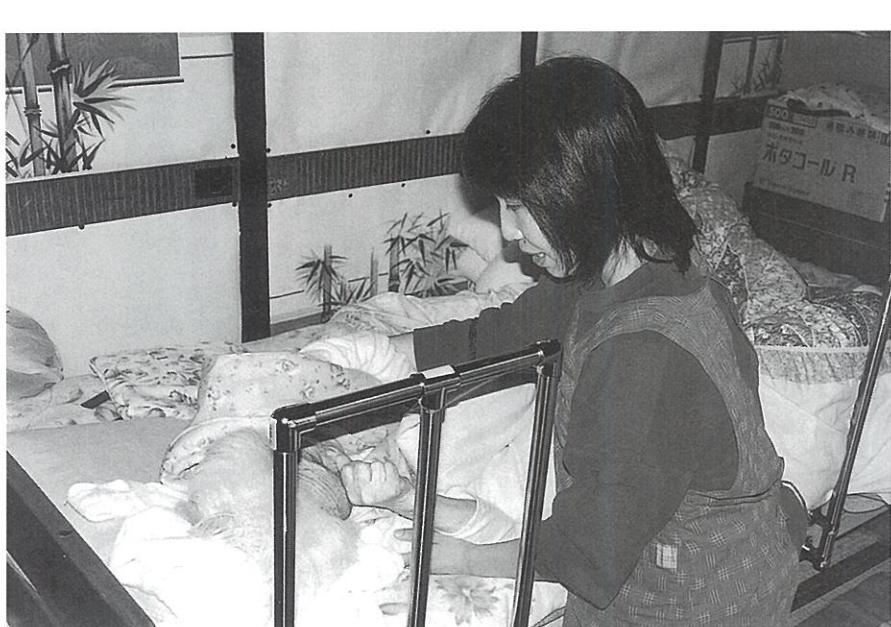
門内巧議員

自立支援対策他

サービスの不公平感があるのでは

サービスの不公平感があるのでは

以上となつてゐるが、この年命を下げたがいいのかのアンケートだつたが、私は若い人が年金も払わない状態といふことで「現在のままでよい」という回答をした。



ホームヘルパーによる介護風景



合併について真剣な議論が行われる合併協議会

本田 議員

合併時における事務調整は！

本田新議員

合併においては、住民が最終的判断をすると私は考えます。それに対し、行政は、住民に対し判断材料をどう提供するかが重要である。事務調整の基本方針について。

今後は、それを詰めるところ

ろは、今後の協議会や専門部会で十分詰めていくべきだと思う。

本田新議員

私は民意を反映させるには、甲佐町が住民投票をしない限り選択はないとと思う。一時は法定協議会の場で承認されるか、されないか、若しくは、配置分合の議決を

議員が議決するか、しないかこここの二つしか民意は反映されない。そこで配置分合の議決、町長の調印前に事務調整を明らかにするところは、先送りになつてている。

最後の詰めとなりますと、意見を述べることは述べて意見を述べることで、両町そういう構えが必要ではないか。少なくとも合併特例法の総額に対して、御船が何割、甲佐が何割と

いう予算配分を確認し両町が納得していただきたいと思う。今後合併協議会で十分議論をして決める。

本田新議員

両町の重要な課題について、法定協議会の場で十分議論した上で、新しい町づくりへの理想を十分反映された政治的判断は。

たとえば、広域幹線道路等について、甲佐が整備計画を出しても、御船からでない場合、完全な一体性が確保できない時は、事務レベルで調整し協議会に提案していく予定です。

企画振興課長

たとえば、広域幹線道路等について、甲佐が整備計画を出しても、御船からでない場合、完全な一体性が確保できない時は、事務レベルで調整し協議会に提案していく予定です。

農産物のブランド開発は！

本田新議員

町長の所信表明の中で、特產品、ブランド等について言及されております。具体的な施策は。

町長

町では、生産額の多い花、花木はブランドの一つである。またニラ、スイートコーン等については、最近高齢化の中で作物が促進されている。

町長

ハウス施設への補助について、国、県の補助制度があり、これらを活用し町はそれに援助するよう努力をしたい。

町長最後の詰めとなりますと、意見を述べることは述べて意見を述べることで、両町そういう構えが必要ではないか。少なくとも合併特例法の総額に対して、御船が何割、甲佐が何割と

いう予算配分を確認し両町が納得していただきたいと思う。今後合併協議会で十分議論をして決める。

最後の詰めとなりますと、意見を述べることは述べて意見を述べることで、両町そういう構えが必要ではないか。少なくとも合併特例法の総額に対して、御船が何割、甲佐が何割と

いう予算配分を確認し両町が納得していただきたいと思う。今後合併協議会で十分議論をして決める。

建設計画は住民ニーズを第一に！

本田新議員

建設計画案の作成について、優先順位はつけてあります。特例債を付けるには、優先順位があるのか。

企画振興課長

新市建設計画案について、甲佐町としては、今の建設

今、建設計画案について、優先順位はつけてあります。特例債を付けるには、優先順位があるのか。



本町の農産物ニラをブランド化へ

基本的には、両町の総合計画、実施計画に基づき中生以上を対象に全住民のアンケート調査、ワークショッピングを開催し民意を反映したところの主要施策を盛り込みました。

最後の詰めとなりますと、意見を述べることは述べて意見を述べることで、両町そういう構えが必要ではないか。少なくとも合併特例法の総額に対して、御船が何割、甲佐が何割と

いう予算配分を確認し両町が納得していただきたいと思う。今後合併協議会で十分議論をして決める。

山内勲議員

地方交付税の大幅な削減が町財政に与える影響は

町財政の現状及び今後の見通しということで、国が進めている、三位一体改革の一環として、地方交付税（臨時財政対策債を含む）が総額で約12%と大幅な削減が行われるが、この地方交付税の削減が町財政に与える影響について、まず町長にお尋ねしたい。

過去三ヶ年、地方交付税額の推移は

山内勲議員

地方交付税の過去三ヶ年、平成13年、14年、15年の推移はどうなつて、いるか総務課長にお尋ねしたい。

総務課長

普通交付税で13年度19億557万円、14年度18億3、422万円、差引1億6、135万円の減額、15年度は17億1、259万円、昨年と比較すると1億2、163万円の減額となつてある状況でございます。

山内勲議員

平成13年度が19億9、500万、15年度が17億1、200で差引き3年間に2億8、000万円の減でございま

町長

わゆる財政構造改革により本町財政において近来なり厳しい財政状況の中、深刻なる財政不足にあります。

地方交付税については、昨

年に引き続き段階補正、事業費補正の見直しがあり削

減が予測される、一方町税については、長引く不況の中、町民税の增收が見込めない。財源不足を昨年に引き続き臨時財政対策債を発行し、従来からの安全、健康、福祉の三つの大きな柱を提唱しながら、重要政策

を実現するためできるだけ企業誘致等について、県と連絡を取りながら企業進出を要請していきたい。又今までのやり方ではなく、甲佐独自でやつていけるようなことを含めて、考えていくべきではないかと思います。

課題を重点的に推進し、地域住民の福祉の向上に繋げて16年度の予算編成をした。

普通交付税は、そのとおりです。

総務課長

自主財源の確保対策とさらなる行政改革の取り組みは

山内勲議員

本町の財政状況は、歳入においては、主要財源である地方交付税は今後年々削減される中で、一方、歳出においては、人件費、扶助費等の義務的経費が年々上がり、このままいくと、近い将来、投資的経済を削減しなければならないという厳しい状況下にある。こうした厳しい財政状況を乗り切るため、自主財源対策とともに、一歩踏んだところの行政改革に取り組む必要があると思うが、町長にお尋ねしたい。

町長

の行政改革に取り組む必要があると思うが、町長にお尋ねしたい。



4月に完成したあゆの里・緑川団地（106区画の分譲予定）

合併後の道路網はどう進める？

北畠常博議員

御船町との合併について
は、御船町の吸収合併ではなく、甲佐町民としてメリットがなければ了解は得られないのではないか。

御船とのアクセス道路で

聞くが、国道443線は国

道であり時期がくれば予算

はつく。しかし緑川堤防沿

いの新しい道や、乙女橋か

ら火葬橋への道路、そして

田口橋からの御船の台地へ

の道路については、熱心に

お願いをし、条件をもちこ

んでしなければ、いつ迄た

つても出来ないのではないか。

本当に合併をしようと思

うのであれば、このよう

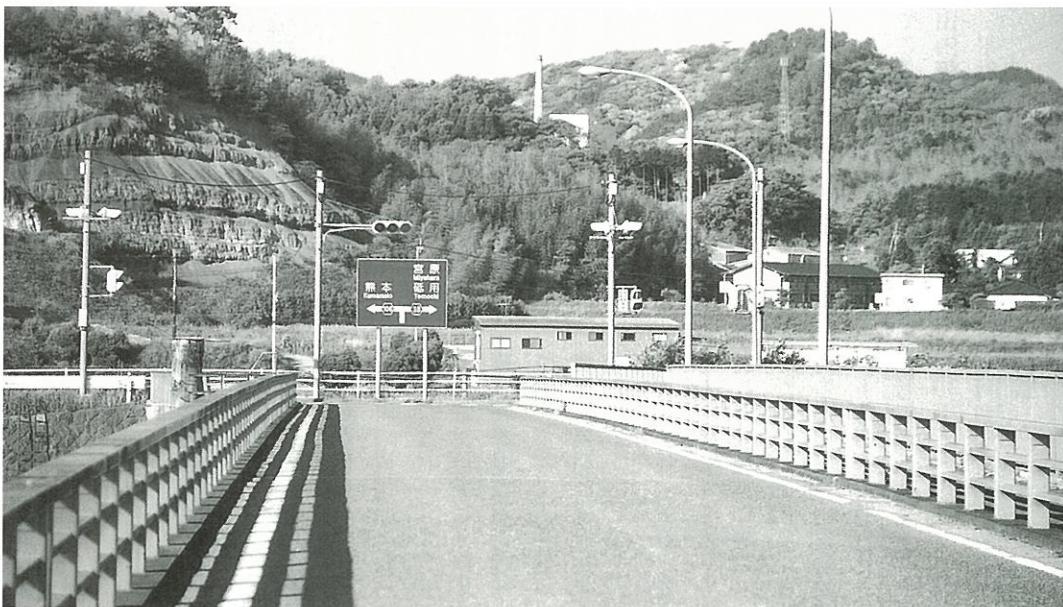
な条件を進めるべきである

が、どのような考えなのか。

総務課長

その件については、今、
両町で新市の建設計画を作
つており、この中に事業と
して盛り込んで今後詰めて
行くことになると思う。

町長



乙女橋より御船方面への道路開通が重要か！

いては、新市建設の計画に
入れてあり、優先順位は高
いほうではないか。

いほうではないか。



北畠常博議員

これから先、甲佐町をどう
ように考えておられるのか、財政面もあります。プラスになるようなことも考えておられると思う。町長のこの先の見通しを聞く。

町長

現在の財政難の中、行政、財政改革を合わせたプロジェクトを作りあげ、広い意見を聞き進めて行く。

活性化のために道路の問題、住宅の建設や企業の誘致等を図らなければならぬ。

今後についても、県のほうに要望すべきことはし、執行部とも議会と一体となって取り組む必要があると考えている。



甲佐町の将来の見通しは

見通しは

北畠常博議員

人口増を図るには、すみ

よい環境をつくることであ

る。そのひとつとして学校

があるが、子供達が安心し

て登下校する環境づくりも

考えなければならない。と

えておられると思う。町長

のこの先の見通しを聞く。

町長

は、船津にしろ府領の方面

にしろ、家がない所があり、

子供にとつて危険ではない

のか。事故等があつては遅

いので、その対策を考える

べきである。

町長

乙女台地の通学路につい

ては、子供にとつて非常に危険だと聞いている。通学

時間帯にあわせたバスを配

置する要望があり、早速内

部で検討したい。予算とし

ては、一月頃教育長の方か

ら申し出があつており、本

予算に間に合わなかつたが

存目で計上してある。



約1時間をかけ登校する乙女小児童（船津の子供たち）

乙女小の通学路の安全対策を急げ！

3月定例議会でこんなことが決まりました

特別職の給料減額される

3月議会で特別職の給料の減額条例案が提案され、全会一致で可決された。これは地方公務員の人事院勧告に基づき、これに準じ減額するものである。

役職名	改正前	改正後
町長	804,000	795,000
助役	603,400	596,200
収入役	563,000	556,300
教育長	563,000	556,300
議長	321,400	317,600
副議長	265,200	262,100
議員	241,500	238,700

特別職の給料減額される

今回の構造改革は「健康福祉課」が現在、6

係で正職員、非常勤職員あわせて54名の大所帯となつており、きめ細かな住民サービスと効率化のために「健康福祉課」から「老人ホーム」と「保健福祉センター」を係から課に独立させ、「健康福祉課」を「福祉課」に改め、また地籍

調査事業が平成15年度で終了したため「耕地課」を廃止して「耕地係」を「農政課」へ、「地籍調査係」を廃止して地籍調査管理事業は「税務課」へ統合された。

また、収入役室の「会計係」が「会計課」になつた。

その他の条例・その他の条件

◎甲佐町選舉における記号式投票に関する条例の一部

改正について（可決）

◎町道（中山道線）の認定について（可決）



払い下げが決まった緑町団地

町営住宅

横田・緑町団地払い下げ 決まる

老朽化した町営住宅を永年入居されて来た方々に払い下げすることが3月議会で決まりました。今回、払い下げするのは緑町団地（S35建設）6戸・横田団地（S42建設）2戸と町有住宅4戸が対象である、借家から脱却、マイホームとしての新居計画が可能になり、今後、町の活性化に寄与できることを期待している。

固定資産評価
審査委員会委員

安達満雄さん
(船津)



今回、固定資産評価審査委員会委員に選任された安達さんは旧郵政省職員として、御船郵便局、甲佐郵便局の勤務の後、八代竜北郵便局および船郵便局長代理を歴任され、多年にわたり国家公務員として尽力されて来た。氏は行政に対する豊富な経験と卓越した識見は固定資産評価審査委員として適任とされ選任同

教育委員に

成松光規さん
(浅井)



3月議会で教育委員会委員に成松光規（下横田）さんが選任された。成松さんは教職員として、河内中・御船中教頭から滝水中・益城中校長を歴任、その後、町教育委員会カウンセラーとして児童、生徒の教育の教育相談の寄与させていた。

3月議会で教育委員会

委員に成松光規（下横田）

さんは教職員として、河

内中・御船中教頭から滝

水中・益城中校長を歴任、

その後、町教育委員会カ

ウンセラーとして児童、

生徒の教育の教育相談の

寄与させていた。

成松さんは教育に対する豊富な経験と識見の持

ち主で、教育委員として

適任と判断され議会で選

任同意された。

傍聴席がう一言

自分で出来る水質浄化！



西寒野 前田孝昭

傍聴席から一言とすることですが、私はまだ傍聴する機会がありません。ただ議会のなかで、甲佐町発展のため議員の方々が頑張つておられると日々聞いております。

さて、私は“こうさ21まちづくり委員会”的手伝いをしております。2001年に作成された「第5次甲佐町総合計画」の重点プロジェクトの1つに、「鮎がとびはね子供が遊ぶ川づくり」がありますが、各家庭の排水の浄化のため、EM活性液を各部落に配布しております。

このペットボトルに入った茶色の液体を、毎日キャップ1杯流すだけでできるボランティアです。空き缶ひろいをしたことがある人は空き缶を捨てたりしません。

「自分達だけがしても、ではなく、自分達だけでも
しよう」をスローガンに町民1人1人ががんばれば
以前清流であった緑川（大井手川）はよみがえり、
鮎釣りの太公望でにぎあうようになるでしょう。
御船・甲佐合併で時代は日々変化しますが、緑川を
これ以上悪化させないよう努力するべきです。まだ
甲佐町全域でEM活性液が流されておりません。
各部落のご協力をお願ひいたします。

長崎県西彼町の 行財政を学ぶ

研修報告

については平成16年1月で
45全ての協議が終了されて
いる。

10年間で28人削減し、議員定数も8人削減し10人としなければならないなど厳しく

編集後記

曰にかけ 長崎県西彼町の
行政機構と財政状況について
研修した。

た結果であり、職員定数79人に対し、78人で立ててはじめに取組んできた行政運営を行つてゐる。現在、一般職について現業職について補充は定年退職補充のみで、行わないことである。仕事の外注できるものは外注するといった方針で行われ、職席については係長職がなく、少数精銳で、職員1人2係といった状況で配置されている。

A photograph showing a group of approximately ten men in professional attire (suits and ties) seated around a long, dark wood conference table. They are engaged in a formal meeting, with papers, glasses of water, and small bowls of fruit (likely apples or oranges) on the table in front of them. The setting appears to be an office or a formal meeting room.

長崎県西彼町での研修風景

